

令和3年度 第1回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会 議事録

令和3年6月24日、本郷新記念札幌彫刻美術館館長 吉崎元章が本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会委員に対し、第1回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会の協議事項について下記の書類を発送し、当該事項について令和3年7月1日までに6名の委員から別添のとおり書面により確認の意思表示を得たので、本運営協議会を開催したとみなされた。

記

1 発送書類

資料1 新型コロナウイルス感染症の影響と対応

資料2 令和3年度事業計画

2 返送書類

第1回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会報告内容についての確認書

3 議事

6名の委員の確認を得た。

4 意見

加藤(大倉山小 PTA):感染症対策をしっかりと考えながら、事業計画も縮小する方向ではなく、積極的な事業展開と思う。SNS の活用による新たな層への PR、グッズの充実を期待する。

渋谷(三角山小学校):こういう状況(コロナ禍)だからこそ、文化・芸術の存在が一層大切になる。学校としても関わり方を工夫しながら連携させて頂きたい。

國松(彫刻家):最近の彫刻美術館は、若年層の関心が高まってきているように感じる。数々の素晴らしい企画がなされ、その成果が現れているのではないかと推察する。

高橋(彫美友の会):コロナ禍、またアフターコロナにおける来館者増加の方策を一緒に考えて行きたい。

以上

以上のとおり、第1回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会が開催されたことを明確にするため、次に吉崎元章館長の押印をする。

令和 3年 7月 1日

本郷新記念札幌彫刻美術館
館長 吉崎 元章 印